

ウイングトワジュニアクラブ月例競技会 ローカルルールと競技の条件

ウイングトワジュニアクラブ月例競技会は最新の(公社)日本ゴルフ協会ゴルフ規則・ウイングトワジュニアクラブ月例競技会ローカルルールと競技の条件を適用する。この規則の適用にあたって一部に変更若しくは追加のある時は、競技委員会からその旨スタート前に告知する。

また、ゴルフ規則のオフィシャルガイドのローカルルールひな型の項目が示されている場合、そのすべての項目を適用するものとする。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の罰は『2打』とする。

1. アウトオブバウンズ(規則18.2)

アウトオブバウンズは白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。

2. ペナルティエリア(規則17)

①ペナルティエリアはレッドペナルティエリアとし、その限界は赤杭又は赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を表示する。片側だけ定められているレッドペナルティエリアは無限に及ぶ。

②ペナルティエリアの縁の一部がアウトオブバウンズの境界の中で定められている場合、その縁はアウトオブバウンズの縁と一致する。

③規則17.1d(2)に基づき、ペナルティエリアから後方線上の救済を受ける場合、その基点は、そのペナルティエリアの外でなければならない。

3. 後方線上の救済

ローカルルールひな型E-12「後方線上の救済を受けて救済エリアの外からプレーした」を適用する。

4. 異常なコース状態や不可分な物(規則16)

①修理地は青杭を立て、白線によってその縁を定める。

②バンカー内で水が流れた事によって砂が取り除かれ、砂を通り抜ける深い流水跡となった区域は修理地である。

③地面に埋め込んであるゴムマットは、人工の表面を持つ道路や通路のすぐ隣にあるとき、規則16.1に基づいて救済を受ける場合、ひとつの異常なコース状態として扱われる。

④排水溝(バンカー内も含む)は動かせない障害物とする。舗装道路に接した排水溝はその道路の一部とみなす。

⑤ジェネラルエリアの芝を短く刈った区域にあるヤーデージマーキングペイントが球のライ、意図するスイング区域の障害となる(スタンスは除く)場合、規則16-1bの救済を受けることができる。

⑥プレーヤーの球が張芝の継ぎ目にあるか、触れている場合、あるいは継ぎ目がプレーヤーの意図するスイング区域の障害となっている場合。

プレーヤーの球がフレンチドレイン工事跡にあるか、触れている場合、あるいはプレーヤーの意図するスイング区域の障害となっている場合。

(a)ジェネラルエリアの球。そのプレーヤーは規則16.1bに基づいて救済を受ける事ができる。

(b)パッティンググリーン上の球。そのプレーヤーは規則16.1dに基づいて救済を受ける事ができる。

しかし、その継ぎ目がプレーヤーのスタンスだけ障害となっている場合、障害は存在しない。

救済を受けるときは、張芝の区域の中のすべての継ぎ目は同じ継ぎ目として扱われる。その事は球をドロップした跡にどの継ぎ目であってもプレーヤーの障害となる場合、たとえその球が基点から1クラブレンジス以内にある場合でも、そのプレーヤーは規則14.3c(2)に基づいて要求されるように処置しなければならないことを意味している。

⑦ジェネラルエリアでは猪、鹿によって生じた損傷の区域は規則16-1bに基づき救済が認められる修理地として扱われる。しかし、その障害がプレーヤーのスタンスにだけ障害となっている場合、障害は存在しない。

5. ホールとホール間の練習ストロークの制限

①規則5.2bは次のように修正される：プレーヤーはラウンド前やラウンドとラウンドの間に競技が行われるコース上で練習してはならない。

②規則5.5bは次のように修正される：2つのホールのプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。

またはパッティンググリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってパッティンググリーン面をテストする。

6. オーディオ・ビデオ機器の使用を禁止

規則4.3(4)は次のように修正される：ラウンド中、プレーヤーは、いかなる内容であっても個人のオーディオ・ビデオ機器を視聴してはならない

7. プレーの不当の遅延:速やかなプレーのペース

①前組のスタート時の間隔よりも前の組から遅れている。あるいはその組がパー4やパー5のホールのティーイングエリアに到着したときにそのホールが完全に1ホール空いている場合、その組すべてのプレーヤーは1打罰を受ける。

②プレーヤーのストローク毎に割り当てられる最大時間は40秒とする。

計測はプレーヤーが球に到達するのに十分な時間を要し、そのプレーヤーのプレーする順番となり、何の障害も邪魔もなくプレーできるようになったときに始まる。**距離を確認したり、クラブを選択するために要する時間は次のストロークのために要した時間としてカウントする。**

パッティンググリーン上では、計測はプレーヤーが自分の球の位置をマークし、拾い上げ、ふき、リブレースしプレーの線の障害となる損傷を修理し、プレーの線上のルースインペディメントを取り除くための合理的な時間

が認められた後に始まる。ホール反対側、および/または後からラインを読むために費やされた時間は次のストロークのために費やされた時間の一部としてカウントされる。

ローカルルール違反の罰 ○最初の違反 1打罰

○2回目の違反一般の罰(最初の違反の罰に加えて適用される) ○3回目の違反 失格

9. 特別ルール：紛失球やアウトオブバウンズの球についてストロークと距離に代わる選択肢

- 1) プレーヤーの球がティーイングエリアから2回連続でアウトオブバウンズまたは紛失球になった場合、次のように処置することができる。
 - ・ 1打目のアウトオブバウンズのストロークと距離の救済(規則18.1参照)と2罰打を加え、元の球か別の球を前方特設ドロップゾーンにドロップ(黄色のティーマーカーの後方1クラブレンジス以内)する。このドロップゾーンは規則14.3に基づく救済エリアである。
- 2) プレーヤーの球が紛失球の場合、そのプレーヤーはストロークと距離に基づいて処置するのではなく、次のように処置することができる。
 - ・ 2罰打を受け、プレーヤーはこの救済エリアに元の球か別の球をドロップすることによって救済を受けることができる。(規則14.3参照)

推定した2つの基点

a. **球の基点** 元の球がコース上に止まったと推定される地点。またはコースの境界線を最後に横切ったと推定される地点。

b. **フェアウェイの基点** 球の基点にもっとも近く、しかし、球の基点よりホールに近づかない、プレーしているホールのフェアウェイの地点このローカルルールの「フェアウェイ」とはフェアウェイの長さかそれ以下に刈られたジェネラルエリアの芝の区域を意味する。球がフェアウェイまで届かないコース上で紛失したり、あるいはフェアウェイまで届かないコースの境界を最後に横切ったと推定される場合、フェアウェイの基点はフェアウェイの長さかそれ以下に刈られたプレーしているホールの芝の通路やティーイングエリアであることがある。

基点に基づく救済エリアのサイズ：次の間のすべての場所

- ・ ホールから球の基点を通る直線(加えて、その直線から外側へ2クラブレンジスの範囲)。そしてホールからフェアウェイの基点を通る直線(加えて、その直線からフェアウェイ側へ2クラブレンジスの範囲)

しかし、次の制限がある。

救済エリアの場所の制限

- ・ ジェネラルエリアでなければならない。そして球が基点より近づいてはならない。

プレーヤーがこのローカルルールに基づいて球をインプレーしたならば

- ・ 紛失したか、アウトオブバウンズであった球はもはやインプレーの球でなく、プレーしてはならない。
- ・ このことはたとえその球が3分間の搜索時間(規則6.3b参照)が終了する前にコースで見つかったとしても同じである。

しかし、元の球が次の場合には、プレーヤーは救済を受けるためにこの選択肢を使うことはできない

- ・ その球がペナルティーエリアの中に止まったことが分かっている、または事実上確実である。
 - ・ そのプレーヤーがストロークと距離に基づいて別の球を暫定的にプレーしていた(規則18.3参照)。
- プレーヤーは見つかっていない、あるいはアウトオブバウンズであることが分かっている、または事実上確実である暫定球について救済を受けるためにこの選択肢を使うことができる。

ローカルルールに違反して誤所から球をプレーした事に対する罰：規則14.7aに基づく一般の罰。

10. プレーの中断と再開(規則5.7b)

危険な状況のためのプレーの中断はカート搭載の無線機によって伝えられる。その他すべての中断はカート搭載の無線機によって伝えられる。どちらの場合も、プレーの再開はカート搭載の無線機によって伝えられる。

11. 移動(規則4.3)

- ① 正規のラウンド中のゴルフカートの使用を認める。カートは共用するプレーヤー同士が運転(リモコン操作)するものとする。

注：小学生以下のクラスは危険防止のため保護者が同行する。

12. スコアカードの提出

スコアリングエリア方式を採用する。プレーヤーのスコアカードはプレーヤーの両足が所定のスコアリングエリアから出た時点で委員会に提出されたことになる。スコアカードを提出する前にスコアリングエリアを離れる必要のあるプレーヤーは、プレーヤーはスコアリングオフィシャルにその意思を告げなければならず、そしてすぐに戻らなければならない。

13. 参加資格

プレーヤーはウイングトワジュニアクラブ会員とする。

14. 競技方法

- ・ 18Hストロークプレー

正規のラウンドが終了して同順位が生じた場合は、マッチング・スコアカード方式で決定する。① I Nの合計スコア② 13番から18番の合計スコア③ 16番から18番の合計スコア④ 18番Hのスコア⑤ 4番から9番の合計スコア⑥ 7番から9番の合計スコア⑦ 9番Hのスコア⑧ くじ引き

15. 競技の短縮

委員会は、コースの状況により適正なるプレーが不可能と判断した時、プレーの条件に定めてあるホール数を短縮することができる。

16. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄についてこの委員会の裁定は最終である。

17. 競技終了(規則3-3a)

委員会の作成した成績表が公表された時点をもってその競技は終了したものとみなす。